

# NEXUS

2020  
No.706

# 10

「NEXUS (ネクサス)」とは、ラテン語で“結びつける”という意味で、会員組合はもとより、中小企業の方々、関係機関等との結びつきを緊密にしなごら、ご活用頂ける情報誌をめざします。



## CONTENTS

- 01 ●Opinion  
株式会社日本政策金融公庫盛岡支店  
支店長 竹本 太郎 様
- 02~13 ●主要記事  
02~05 第45回中小企業団体岩手県大会を開催  
～国・県に対する要望を決議～
- 06 岩手県「新型コロナウイルス感染症対策 第4弾」
- 07 いわてに泊まろうキャンペーンのご紹介  
「買うなら岩手のもの」バーチャル物産展での販売が開始されました
- 08 Go To 商店街 事業者の募集開始
- 09 新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金の特例措置が  
延長されました  
新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の対象期間・  
申請期限が延長されました
- 10 令和元年度補正・令和2年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性  
向上促進補助金」3次締切の採択発表について
- 11 「ものづくり補助金・商業・サービス生産性向上促進補助金」  
今後のスケジュールについて(今年度内)
- 11 被災組合等販路開拓支援事業 採択結果公表
- 12 震災対応移動中央会 第25次グループ補助金相談対応
- 12 いわてキラリ企業合同就職フェアHybridを開催  
青年中央会 東北・北海道ブロック 会長会議開催
- 13 会員情報  
協同組合盛岡卸センター創立50周年記念式典  
盛岡駅前商店街 100縁商店街開催  
岩手県電気工事業工業組合・同青年部 出前授業開催
- 14~15 ●岩手県内中小企業概況(8月)
- 16 ●中央会Information  
新春中央会組合トップセミナーのご案内  
「中小企業等協同組合法施行令及び中小企業団体の組織に関する  
法律施行令の一部を改正する政令」が施行されました  
令和3年経済センサス - 活動調査を実施します(総務省・経済産業省)

岩手県中小企業団体中央会

<http://www.ginga.or.jp/>

## 「就任のご挨拶」

### 株式会社日本政策金融公庫盛岡支店 支店長 竹本 太郎



日本政策金融公庫の業務につきまして、平素より格別のご理解とご厚誼を賜り、厚く御礼を申し上げます。7月に盛岡支店長として着任いたしました、竹本太郎と申します。

岩手県に赴任して、3か月が経とうとしています。世の中は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりこの半年あまりで一変し、「ニューノーマル」や「ウィズコロナ」という言葉に表されるように、私たちの生活様式と消費スタイルは大きく変化しました。

日本公庫が全国の中小企業を対象に定期的に行っている景況調査でも、業種や事業規模により濃淡はあれ、コロナ禍の影響は色濃く表れています。特に岩手県では、東日本大震災津波、近年の台風災害が続き、その復興途上にコロナ禍が重なりました。

予見できない突発的な不確実性の連鎖に多くの経営者が翻弄されており、経営戦略の再考や変更を迫られています。こうした災禍に対して複数のシナリオを想定し、ち密に対策を織り込むことは難しく、経営マインドにも負の影響を与えているものと容易に想像されます。

一方で、経営者の皆さまからお話をうかがうと、状況の潮目を読み取り、柔軟にしなやかに対応している方もいらっしゃる。総じて、こうした方々は、変化に対し前向きな姿勢や既存の枠組みに囚われない思考、対応・行動のスピード感が共通しており、驚嘆とともに、私自身も改めて勉強をさせてもらっています。

日本公庫では、今春、新型コロナウイルス感染症特別貸付を創設し、全国ベースで平常時の数十倍のお申し込みをいただき、民間金融機関と連携しながら、お客さまの資金繰り支援に取り組んできました。今後も引き続き、お客さまと向き合うなかで経営課題をしっかりと受け止め、新たに8月から始まった「新型コロナ対策資本金劣後ローン」などを提案・活用し、お客さまの中長期的な経営発展や再建を後押ししてまいります。

また、人材の確保や事業承継など中小企業が抱える課題は山積しており、外部専門機関の協力を得て、金融手法によらない多様な課題解決支援にもしっかりと汗をかいていく所存です。

結びに、岩手県中小企業団体中央会様の益々のご発展と会員の皆さまのご繁栄を祈念するとともに、日本公庫への一層のご指導・ご鞭撻をいただくようお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。



## 第45回中小企業団体岩手県大会を開催 ～ 国・県に対する要望を決議 ～

本会では、第45回中小企業団体岩手県大会を、盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて、9月29日(火)に開催した。

今年度はコロナ禍において感染拡大防止の観点から小規模での開催とし、来賓は岩手県知事、岩手県議会議長、商工中金盛岡支店長をはじめとする11名がご臨席のほか、県下の組合役職員等62名(受章者含む)が参加した。

大会では、岩手県知事(代理:戸館商工労働観光部長)より岩手県商工観光業表彰の授与の他、本会会長から大会表彰として優良組合・組合功労者・優良青年部表彰を行った。その後、国及び県に対する要望事項の議案審議に入り、全議案を満場一致により決議し、岩手県中小企業青年中央会の松田会長による大会宣言がなされた。

国に対する要望としては、新型コロナウイルス感染症対策として資金繰りや補助金等による支援、雇用・労働に関する支援等5項目を、復興支援関係として復興財源確保と予算措置、被災中小企業への支援等3項目を、地方創生関係として地方創生交付金の要件緩和・拡充をはじめ、公共事業費の確保及び発注の平準化、ものづくり補助金の継続・生産性向上支援、中小企業の経営力強化対策の拡充、地域中小企業の人材確保・育成に関する支援、中小商業の活性化支援の継続・拡充、インバウンド拡充等に向けた支援等8項目を、また、国際リニアコライダー(ILC)の誘致の早期決定、消費増税対策の強化、原子力発電所事故に伴う輸入・取引規制への対応、中小企業に配慮した労働・社会保障制度等、事業承継の円滑化に向けた支援の強化、不公正取引の排除、官公需対策の強化について、その他中小企業税制関連として中小法人の税制の見直し等、多岐にわたる事項を上程した。

県に対する要望としては、重点要望事項として「新型コロナウイルス感染症関係」「復興支援関係(復興財源確保と予算措置、グループ補助金の継続等、被災事業者の新商品開発等への支援)」、「地方創生、産業振興関係(中小企業・小規模事業者に対する生産性向上支援、地域中小企業の人材確保・育成に対する支援、国際リニアコライダー(ILC)の誘致の早期決定、交流人口拡大に向けた新たな取組、官公需対策の強化・拡充)」を、一般要望事項として「復興支援関係(復興工事予定価格(発注額)の引き上げ)」、「地方創生、産業振興関係(公共事業費の確保及び発注の平準化、中小商業の活性化支援の継続・拡充等、インバウンド拡充等に向けた支援)」を上程、満場一致で決議後、決議内容の実現に向けて、総力を結集して陳情要望を行なうこととした。



大会会場全景



出席ご来賓の様子



主催者挨拶をする小山田会長



知事表彰・団体の部(久慈市上下水道工事業(協))

# 受賞者のご紹介

(敬称略・順不同)

## 岩手県商工観光業表彰(岩手県知事表彰)

### 団体の部 (3組合)



久慈市上下水道工事業(協)  
理事長 久保田 敏晴



気仙木材加工 (協連)  
理事長 鈴木 正



岩手県バス事業(協)  
理事長 本田 一彦

### 個人の部 (5名)



須藤 義幸  
遠野すずらん振興(協)  
理事長



佐々木 伸吉  
盛岡市上下水道工事業(協)  
理事長



熊谷 英典  
盛岡市建設業(協)  
理事長



中村 善雄  
一戸町商業(協)  
理事長



千葉 和博  
久慈市商業(協)  
理事長



知事表彰・個人の部 (須藤義幸氏)



優良組合代表受章 (大船渡・陸前高田地城再生事業(協))



組合功労者・役員の一部代表受章 (竹田和正氏)



組合功労者・職員の一部代表受章 (竹原幸子氏)



## 大会表彰（中央会会長表彰）

### 優良組合（3組合）

- 大船渡・陸前高田地域再生事業協同組合  
理事長 小松 格
- 新生やまだ商店街協同組合  
理事長 昆 尚人
- たろちゃん協同組合  
理事長 箱石 英夫



### 組合功労者（役員の一部・21名）

- 阿部 惣一 協同組合一関卸センター 顧問
- 三浦 邦弘 一関市水道工事業協同組合 専務理事
- 竹田 和正 岩手県久慈地区生コンクリート協同組合  
理事長
- 畠山 義博 岩手県鉄構工業協同組合 副理事長
- 上山 敦史 九戸商業協同組合 理事
- 宍戸 諭 国際情報ビジネス協同組合 理事・事務局  
局長
- 田中 和七 たろちゃん協同組合 副理事長
- 佐藤 明彦 東北アグリメント協同組合 理事
- 村上 誠 遠野すずらん振興協同組合 副理事長
- 朝倉 健 遠野すずらん振興協同組合 理事
- 小泉 隆 盛岡市建設業協同組合 理事
- 高橋 勇 盛岡市上下水道工事業協同組合 理事
- 遠藤 忠嘉 盛岡砂利業協同組合 監事
- 小野寺正太郎 両磐一関トラック事業協同組合 理事
- 大浦 広 岩手県菓子工業組合 理事
- 志和 正浩 岩手県再生資源商工組合 理事
- 似内 博 岩手県自動車整備商工組合 副理事長
- 松平 盛一 岩手県自動車整備商工組合 副理事長
- 金子 秀一 岩手県生コンクリート工業組合 理事長
- 佐々木 裕之 岩手県板金工業組合 副理事長
- 小野 政紀 岩手県パン工業組合 理事

（大会表彰次項に続く。）

優良青年部表彰（岩手県鉄構工業(協)青年部）



盛岡市建設業(協)熊谷理事長による謝辞



戸舘・県商工労働観光部長による祝辞



関根・県議会議長による祝辞



(前ページより続く。)

## 組合功労者（職員の一部・4名）

古川 康幸 岩手県総合建設業協同組合 工務部長  
安部 和彦 両磐一関トラック事業協同組合  
業務課長  
下田 祐一郎 岩手県火災共済協同組合  
業務部第二課課長補佐  
竹原 幸子 岩手県火災共済協同組合  
業務部第二課 係長



議長として議事進行する藤村副会長

## 優良青年部

岩手県鉄構工業協同組合青年部 加賀谷 浩一 青年部長

### 大会宣言

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況が続いている。加えて、原材料費や人件費の上昇、内需低迷の長期化に加え、地震や台風等の自然災害の多発等により、先行きは予断を許さない状況にある。

地域の雇用を支える中小・小規模事業者においては、人手不足の常態化に加え、個人消費の低迷、経済の下振れによる投資の弱含み等が続くなか、依然として景気持ち直しの実感が得られないばかりか、コロナ禍により景況感の下降幅がさらに拡大するなど、経営環境好転の兆しは見出し難い状況となっている。

震災以降の本県経済は、土木・建築関連を中心とした復興需要に牽引され回復が見られたものの、今や復興に伴う公共事業の陰りが鮮明化するなか、被災事業者の多くが震災前の業績回復に至らず、人口の流出や従業員の確保難、取引先の減少等、極めて厳しい課題に直面している。

今こそ政府は、新型コロナウイルス感染症対策や震災からの確実な復興を果たすべく、令和2年度以降も十分な予算を確保するとともに、全ての中小・小規模事業者が将来に向けて安心して経営に専念できるよう、あらゆる政策手段を集中して、中小・小規模事業者対策を包括的に推進することが必要である。

本日、県下中小企業団体の代表者等が会し、中小・小規模事業者が抱える課題の解決及び今後の持続的発展のために必要な事項について決議した。

政府は、県下中小・小規模事業者が希望と勇気をもって、豊かな将来を展望できるよう、本大会が決議した事項を早急実現すべきである。

我々中小・小規模事業者は、我が国経済の礎として、中小企業組合のもとに団結と絆の力を結集し、希望に満ちた地域経済社会の創造発展に向けて、大きくはばたくことを期する。

ここに、第45回中小企業団体岩手県大会の名において宣言する。

令和2年9月29日

第45回中小企業団体岩手県大会



# 岩手県「新型コロナウイルス感染症対策 第4弾」

9月8日に開催された岩手県議会臨時会において「新型コロナウイルス感染症対策のための補正予算第4弾」が成立しました。

新型コロナウイルス感染症対策(第4弾)の詳細については、岩手県ホームページをご参照ください。(岩手県 HP: [https://www.pref.iwate.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/\\_001/033/240/covid19\\_4.pdf.pdf](https://www.pref.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/033/240/covid19_4.pdf.pdf))

## 中小企業者等向け『新型コロナウイルス感染症に関する岩手県の支援策』

(令和2年9月16日現在 [https://www.pref.iwate.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/\\_001/033/303/2.pdf](https://www.pref.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/033/303/2.pdf))

感染症拡大防止への対応	感染症対策の取組への支援	地域企業経営継続支援事業費補助(感染症対策等支援)	○新たに感染症対策(備品購入等)や業態転換(テイクアウト、宅配等)に要する経費を支援 対象業種:小売業、飲食業、宿泊業、サービス業 補助率:定額 補助上限10万円/店舗・事業所 ○公共交通事業者等が感染症防止対策に要する経費を支援 補助率:定額 補助上限額:10万円/営業所・事務所	経営支援課 ☎019-629-5547  交通政策室 ☎019-629-5204
		観光宿泊施設緊急対策事業費(感染症対策、ワーケーション等支援)	○宿泊施設の感染症防止対策等に要する経費を支援 補助率2/3 補助上限額:200万円/施設	観光・プロモーション室 ☎019-629-5573
社会経済活動の維持	感染症拡大により就職活動ができない方への支援	新型コロナウイルス感染症対策オンライン就職支援事業費	○学生と県内企業のマッチングを図るため、オンラインによる企業説明会を開催	定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5591
	学生の就職活動への支援	高校生等県内就職応援事業費	○未内定の高校生等を対象とした企業面接会や高校1,2年生を対象とした企業ガイダンスを開催	定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5591
		岩手県出身県外大学生等応援事業費	○県外に進学している岩手県出身の大学生等が、県内でインターンシップ、企業見学及び地域での企業説明会等で、帰県する際に要する交通費や宿泊費を支援 一人当たり最大2万円	定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5588
	経営が悪化した中小企業者に対する支援	地域企業経営継続支援事業費補助(家賃補助支援)	○売上が前年同月比50%以上減少又は連続する3か月の売上が前年同期比30%以上減少している中小企業者等が支払う家賃の一部を市町村が補助した場合、県がその経費の一部を支援 市町村補助額の1/2以内、補助上限額:10万円/月、3か月分を支給	経営支援課 ☎019-629-5547
		地域企業経営継続支援事業費補助(販売促進支援)	○商工会議所等が実施する売上が減少した事業者への支援策に要する経費の一部を支援	経営支援課 ☎019-629-5547
	観光・宿泊事業者に対する支援	観光宿泊施設緊急対策事業費(観光宿泊施設経営継続支援)	○感染症の影響を受ける宿泊施設に対し、経営継続を支援するための支援金を支給 定額 100万円/施設	観光・プロモーション室 ☎019-629-5573
		観光宿泊施設緊急対策事業費(地元の宿泊援割)	○市町村が行う地元の宿泊施設を利用する住民の宿泊料助成の経費を支援 市町村補助額の1/2以内、県補助上限額2,000円/人泊 ○県内の宿泊施設を利用する岩手県民の宿泊料を支援 県助成額3,000円/泊 ○県内の宿泊施設を利用する本県を含む東北各県及び新潟県民の宿泊料を支援 県助成額3,000円/泊	観光・プロモーション室 ☎019-629-5573
		観光バス運行支援事業費補助	○観光バス事業者が感染症対策を講じて観光バスを運行した際に掛かり増しとなった経費を支援 補助上限額:1日1台当たり5万円	観光・プロモーション室 ☎019-629-5573
	製造業に対する支援	ものづくり企業競争力強化緊急支援事業費補助	○中小ものづくり企業が、生産拠点の国内回帰など、将来の動きを見据えた競争力強化の取組に要する経費を支援 補助率:1/2 補助上限額:300万円/件	ものづくり自動車産業振興室 ☎019-629-5552
	地場産業に対する支援	買うなら岩手のもの運動展開事業費	○オンラインや新聞折込チラシによる商品価格を30%割引く物産展の開催等、県産品の販売を促進するためのキャンペーンを実施	産業経済交流課 ☎019-629-5536
資金繰りのための県の融資制度	新型コロナウイルス感染症対応資金(特別資金)	○対象者:売上が減少し、セーフティネット保証4号、5号、危機関連保証のいずれかの認定を受けている方 融資限度額:4,000万円 融資利率:年1.4%以内(当初3年間無利子) 保証料率:全額補給 融資枠:1,500億円	経営支援課 ☎019-629-5542	
	新型コロナウイルス感染症対策資金	○対象者:売上が減少し、危機関連保証の認定を受けている方 融資限度額:8,000万円 融資利率:1.4%以内(固定)1.2%以内(変動) 保証料率:年0.4% 融資枠:500億円	経営支援課 ☎019-629-5542	
感染症拡大防止と社会経済活動の両立	業態転換、生産性・付加価値向上、商品開発、販路開拓への支援	いわて働き方改革加速化推進事業費(テレワーク導入推進事業費補助)	○新たに中小企業者等が行うテレワークの導入に要する経費を支援 補助率:2/3 上限:200万円/事業者	定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5584
		いわての新しい観光推進事業費	○ODMOや観光協会が地域の観光関係事業者と連携し、付加価値の高い宿泊プランを造成し、販売することを支援	観光・プロモーション室 ☎019-629-5573
		いわて食のオンライン商談拡大事業費	○感染症拡大により対面による商談の機会が減少している食産業事業者を対象に、オンライン商談の研修会を実施するとともに、オンライン商談を促進するポータルサイトの開設を支援	産業経済交流課 ☎019-629-5531
	移住・定住受入体制支援・情報発信の強化	いわて移住・定住促進事業費	○感染症の影響に伴う地方移住への関心の高まりを踏まえ、関心者への直接PRや首都圏におけるPRイベントなどのプロモーション等を実施	定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5588
岩手らしい新しい生活様式発信事業費		○感染症対策や医療体制、テレワーク対応施設の状況等の移住希望者の安心につながる情報を発信するため、移住定住ポータルサイトを改修	定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5588	
	いわてテレワーク推進モデル事業費	○県外企業を対象として、県内テレワーク施設等の視察や、ワーケーション対応施設等を活用するお試しテレワーク事業を実施	定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5588	

< 県金融相談窓口一覧(資金繰り、融資制度に関する相談先) >

- |                             |                       |                              |                       |
|-----------------------------|-----------------------|------------------------------|-----------------------|
| 岩手県商工労働観光部経営支援課             | 電話: 019-629-5542、5544 | 沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター地域振興課 | 電話: 0192-27-9911      |
| 盛岡広域振興局経営企画部産業振興室           | 電話: 019-629-6511      | 岩手県商工労働観光部経営支援課              | 電話: 019-629-5542、5544 |
| 盛岡広域振興局経営企画部産業振興室(奥州)       | 電話: 0197-22-2843      | 盛岡広域振興局経営企画部産業振興室(久慈)        | 電話: 0194-53-4981      |
| 沿岸広域振興局経営企画部産業振興室(釜石)       | 電話: 0193-25-2718      | 沿岸広域振興局経営企画部二戸地域振興センター地域振興課  | 電話: 0195-23-9205      |
| 沿岸広域振興局経営企画部宮古地域振興センター地域振興課 | 電話: 0193-64-2211      |                              |                       |



## いわてに泊まろうキャンペーンのご紹介

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要の回復を図り、令和3年4月から展開をする東北ディステーションキャンペーン期間の誘客につなげるため、県内宿泊施設の利用を促進するキャンペーンを実施します。

### 対象期間

秋期：令和2年10月1日(木)～令和2年11月30日(月)

冬期：令和2年12月1日(火)～令和3年2月28日(日)

### 応募締切

秋期：令和2年12月4日(金) 当日消印有効

冬期：令和3年3月5日(金) 当日消印有効

### 応募方法

- ✓ 対象の宿泊施設に1泊1名につき3,000円(税込)以上のお支払いの方に配布される専用の応募券1枚を1口として、必要事項①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤性別⑥電話番号⑦職業⑧メールアドレスをご記入のうえ応募ください。
- ✓ お一人様何口でもご応募いただけます。
- ✓ 所定の郵便切手が貼付されていない場合は無効とさせていただきますので予めご了承下さい。
- ✓ 送料(切手代)はお客様でご負担ください。

※お一人様一泊 Go To トラベル適用後3,000円(税込)以上の支払いが対象となります。

現金、クレジットカード、商品券、ポイント、クーポン券など宿泊者の支払方法については問いません。

※応募はがきはお客様にチェックインまたはチェックアウト時にお渡しください。

※応募はがきは参画宿泊施設でもお預かりいただき、まとめて事務局へお送りいただいても構いません。

### 応募方法

抽選は応募締切後に行い、当選の発表は当選通知の発送をもってかえさせていただきます。

<お問合せ先> いわてに泊まろうキャンペーン事務局 TEL: 019-601-8160 FAX: 019-601-8162  
E-mail: [jimotowari-gyosha@tobutoptours.co.jp](mailto:jimotowari-gyosha@tobutoptours.co.jp)



## 「買うなら岩手のもの」バーチャル物産展での販売が開始されました



新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している県産品の消費拡大を図るため、岩手県ではオンラインストアで岩手自慢の商品を販売する「バーチャル物産展」が開催されています。

県内で製造された食品や工芸品など、すべて通常価格の3割引きでの販売となっています。

ぜひこの機会にサイトにアクセスの上お買い求めください。(URL: <https://iwks-netshop.com/>)

販売期間：令和2年9月9日(水)～令和3年1月29日(金)まで (終了が早まる場合がございます。)

<お問合せ先>

商工労働観光部 産業経済交流課 地域産業担当

TEL: 019-629-5537

FAX: 019-623-2510



## Go To 商店街 事業者の募集開始

本事業は、3密対策等の感染拡大防止対策を徹底しながら、商店街等がイベント等を実施することにより、周辺地域で暮らす消費者や生産者等が「地元」や「商店街」の良さを再認識するきっかけとなる取組を支援するものです。

### ● 対象期間及び募集期間

先行募集	(対象期間) 令和2年10月19日(月)～11月30日(月)に開始する事業 ※令和3年2月14日(日)までに事業終了すること
	(募集期間) 令和2年10月2日(金)～10月30日(金) 1次締切：10月9日(金)→10月31日(土)までに開始する事業が含まれるもの 2次締切：10月19日(月)→11月20日(金)までに開始する事業が含まれるもの 3次締切：10月30日(金)
通常募集	(対象期間) 12月1日(火)以降に開始する事業 ※令和3年2月14日(日)までに事業終了すること
予算 3割程度	(募集期間) 令和2年10月30日(金)～ ※予定
予算 7割程度	

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって、事業全体の中止、募集期間の短縮等が想定されます。

### ● 対象事業者

特定の商店街等（商店街その他の商業の集積）の活性化につながる取組を実施できる以下の組織等

	対象組織	組織の構成
①	法人格を有する商店街振興組合、事業協同組合、商工会等の組織	a. 構成員数・会員数 10社以上 (R2.3.31時点) b. 構成員・会員の約7割程度以上が中小企業者 (R2.3.31時点) c. 構成員・会員の店舗が集積し、商店街等を形成していること。
②	民間事業者等（中小企業に限る。）	a. まちづくりや商業活性化の担い手として事業に取り組むことができ、特定の商店街等において活動実績を有していること。
③	その他法人化されていない上記①に類する組織	a. 構成員数・会員数 10社以上 (R2.3.31時点) b. 構成員・会員の約7割程度以上が中小企業者 (R2.3.31時点) c. 定款等により代行者の定めがあること。 d. 財産の管理等を適正に行えること。 e. 設立して1年以上経過していること。 f. 構成員・会員の店舗が集積し、商店街等を形成していること。

### ● 対象となる事業

特定の商店街等（商店街その他の商業の集積）の活性化につながる以下の取組

- ① 地元の商店街の良さを再認識するきっかけとなるような商店街イベント等の実施（オンラインを活用したイベント実施も含みます）
- ② 地域の良さを再発見を促すような、新たな商材の開発やプロモーションの制作

### ● 事業実施場所

申請者の所在エリア及び隣接するエリア（オンラインイベント、商材開発、プロモーションの場合はエリアの制限はありません）

※ 隣接エリアとは、イベント実施により、申請者への所在エリアへの直接の来街があり、活性化が見込めるエリアを指します。

- **上限額** 300万円 × 申請者数 （+ 500万円（2者以上で連携し事業を実施する場合に限ります））  
※ 1応募あたりの上限額は1,400万円とします。

本事業の詳細については、経済産業省のHPをご覧ください。

(URL : <https://www.meti.go.jp/covid-19/goto-shoutengai/index.html>)

<お問合せ先> Go To 商店街事務局 TEL : 03-5544-7613 (受付時間…10:00～18:00)



## 新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金の 特例措置が延長されました

厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年9月30日までを目途に雇用調整助成金の特例措置を講じてきたところですが、現在の雇用情勢を鑑み、緊急対応期間を

### 令和2年12月31日

まで延長いたします。

- ご利用可能な特例措置の内容は、高助成率や、要件緩和など**すべて引き続き延長**をなります。
- 特例措置（令和2年1月24日～）、緊急対応期間（令和2年4月1日～）いずれも同日まで延長となります。
- **支給対象期間の末日の翌日から2カ月以内**に申請する必要がありますので、ご留意いただくとともに、早めの申請をお願いいたします。
- 令和3年1月以降の対応については、雇用情勢等を総合的に考慮し改めて判断することとしています。

＜お問合せ先＞ 学校等休業助成金・支援金、雇用調整助成金コールセンター  
TEL：0120-60-3999（受付時間...9：00～21：00 土日・祝日含む）

## 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の 対象期間・申請期限が延長されました

### ○ 制度概要

主に以下2つの条件に当てはまる方に、休業前賃金の8割（日額上限11,000円）を、休業実績に応じて支給します。

- ①令和2年4月1日から12月31日までの間に、事業主の指示により休業した中小事業主の労働者
- ②その休業に対する賃金（休業手当）を受けることができない方

### ○ 対象期間および申請期限

休業した期間	申請期限	
	旧	新
4月	令和2年9月30日（水）	令和2年12月31日（木）
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	令和2年12月31日（木）	
10月	—	令和3年3月31日（木）
11月		
12月		

詳細は、厚生労働省 HP の新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金特設ページをご覧ください。

（URL：<https://www.mhlw.go.jp/stf/kyugyoshienkin.html>）

＜お問合せ先＞ 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金コールセンター  
TEL：0120-221-276（月～金 8：30～20：00 / 土日祝 8：30～17：15）



## 令和元年度補正・令和2年度補正 「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」 3次締切の採択発表について

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金〔一般型〕の3次締切につきましては、令和2年5月22日から8月3日までの期間において公募を行ったところ、全国で6,923者からの申請がありました。

全国採択審査委員会において厳正な審査を行った結果、このうち、2,637者（うち岩手県内7者）を採択することといたしましたので、お知らせいたします。

○申請数 : 6,923者      ○採択数 : 2,637者

以下は、岩手県地域事務局で採択された事業者の一覧です。

### 【ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 採択先一覧】（岩手県地域事務局分）

No	事業者名	事業計画名	補助事業の実施場所
1	（株）建築のフジサワ	「鉄筋加工の半自動化」による基礎工事の完全自社施工体制の実現	大船渡市
2	北上物産（株）	岩手県発！コロナ禍の団体宿泊ニーズに応える革新的サービスの提供	北上市
3	上閉伊酒造（株）	新商品「超フレッシュ生酒（微発泡）」の開発・販売による新規市場の開拓	遠野市
4	（株）テクノボンズ	低温圧搾法を採用した廃棄素材から生まれる純国産葡萄オイルの開発	一関市
5	（有）セーコー印刷	高強度・高耐久性で長期保存が可能なPUR製本の安定供給体制の確立	盛岡市
6	ささき歯科医院	生産性とコロナ感染対策を実現、地域医療特化型デジタル歯科診療システムの確立	奥州市
7	佐々木 隆雄	店舗のテーマパーク化から始まるお酒を通じた造り手と市民の繋がりづくり	花巻市

## 「ものづくり補助金・商業・サービス生産性向上促進補助金」 今後のスケジュールについて（今年度内）

今後の公募スケジュールは以下の通りです。（今年度内）

- 4次締切分 【応募締切】令和2年11月26日（木） 【採択発表】令和3年1月（予定）
- 5次締切分 【応募締切】令和3年2月（予定）（4次締切後に申請を受付）

### 【お問合せ先】

○公募に関する不明点は、ものづくり補助金事務局サポートセンターまでお問い合わせください。

- ・公募要領に関するお問い合わせ：[monohojo@pasona.co.jp](mailto:monohojo@pasona.co.jp)
- ・電子申請システムの操作に関するお問い合わせ：[monodukuri-r1-denshi@gw.nsw.co.jp](mailto:monodukuri-r1-denshi@gw.nsw.co.jp)
- ・受付時間：10：00～17：00（土日祝日を除く） 電話番号：050－8880－4053



## 被災組合等販路開拓支援事業 採択結果公表

本会では、東日本大震災や原発事故、さらには度重なる台風等の影響を受けた組合、または組合員企業の販路の回復を図るため、組合による展示会や物産展等への出展活動、需要の喚起等の販路開拓に向けた取り組みに要する経費を補助する「被災組合等販路開拓支援事業」を実施している。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、売上や販路等に影響を受けた組合、または組合員企業の売り上げ回復に向け、組合が行う販路獲得や販売促進のための取り組みも支援対象に拡充し、公募した結果、下記6組合の取組みを支援する。

組合名等	所在地	テーマ
岩手県中古自動車販売 商工組合	盛岡市	組合員企業の主力商品である中古車の展示販売会を開催し、組合員企業に販売機会を提供する。
盛岡市肴町商店街振興組合	盛岡市	初売り情報および商店街としての新型コロナウイルス感染症防止策を広告掲載することで来客誘致を図る。
協同組合江釣子 ショッピングセンター	北上市	新店舗オープン記念販売促進事業の周知の為、新聞折込等の広告宣伝活動を行う。
岩手県遊技業協同組合	盛岡市	テレビCMや新聞の折込を実施し、販売促進事業の周知を行い来客誘致を図る。
協同組合宮古市魚菜市场	宮古市	歳末の販促事業の内容と、組合としての新型コロナウイルス感染症防止策を周知し来客誘致を図る。
岩手県菓子工業組合	盛岡市	既存HPを更新し、各地の催事へ参加することで、地域資源を活用した製品及び作り手の発信力を強化する。

## 震災対応移動中央会 第25次グループ補助金相談対応

本会では、東日本大震災発災以降、甚大な被害を受けた三陸沿岸地域の中小企業組合や事業者の事業基盤再建、販路の回復等に向け、国・県等の支援施策の説明会や経営相談会（中小企業組合等震災対応移動中央会）を、これまで180回以上に亘り開催しているところであるが、今般、第25次グループ補助金の公募実施に伴い、9月14日(月)に、陸前高田市において、制度に関する説明会及び個別相談会を開催した。

制度に関する説明会では、岩手県経営支援課の担当職員より、事業概要、補助対象経費、申請に係る留意点等について、(株)東日本大震災事業者再生支援機構の担当者より、震災前の借入金に対する支援策について、それぞれ説明を実施。

説明会終了後には、個別相談会を実施。岩手県経営支援課の担当職員より、申請時の必要書類、申請に係る留意点、自己負担分に対する高度化スキーム貸付制度の活用等について、本会職員より、グループの組成及び共同事業の考え方等について、グループ補助金申請を検討している各事業者の相談に対応した。また、震災前からの借入金などに関する相談には、(株)東日本大震災事業者再生支援機構の担当者が対応した。

第25次グループ補助金は、6月15日(月)～10月9日(金)の期間に公募が行われ、本会では移動中央会の相談事業者等を含む1グループの復興計画策定の支援を実施している。



## いわてキラリ企業合同就職フェア Hybrid を開催

本会は、県内中小企業に就職を目指す若者、女性、キャリア人材等の多様な人材と採用意欲のある中小企業とのマッチングを図る「いわてキラリ企業合同就職フェア」を9月25日（金）にアートホテル盛岡にて開催した。本イベントは、東北経済産業局より本会が事業を受託している「中小企業等人材確保支援事業」として実施するもので、今回は新型コロナウイルス感染症対策の新たな取り組みとして、Web会議ツールを活用したオンライン型と規模を制限した対面型を組み合わせた「Hybrid」型にて開催し、オンライン10社、対面型28社の延べ38社の出展を得た。特に初開催となったオンライン説明会では、県内在住のみならず関西以西の在住の方など対面型では参加が難しい求職者も参加し、初めてオンライン説明会に参加した企業からも、オンラインでの採用活動を今後も活用したいなどの意見が聞かれた。

本会では、今後も検温・消毒・マスク着用などの感染予防策を徹底した上で Hybrid 型によるマッチングイベント・セミナーを開催する予定であり、本会HP上で情報を随時公開している。



オンライン・対面型両方に参加する企業のため、オンライン専用会場を用意



対面型会場の様子

## 青年中央会 東北・北海道ブロック 会長会議開催

10月2日（金）、福島県郡山市において、中小企業団体青年中央会東北・北海道ブロック連絡協議会の令和2年度第1回会長会議が開催された。今回の会長会議は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンラインツール（ZOOM）を活用し、現地出席とリモート出席を組み合わせた形で行われた。当日は、各道県の青年中央会の会長及び事務局等の18名が出席（現地・リモート出席）。本県青年中央会からは松田和秀会長及び事務局がリモートにて出席した。

議事では、令和3年度のブロック協議会の通常総会並びに恒例行事となっているブロック交流会の開催時期及び開催地等が協議された。通常総会については、来年4月頃に北海道にて開催することとされ、ブロック交流会については、来年10月頃に岩手県にて開催することが決定された。ブロック交流会の開催内容、プログラム等の詳細については、例年、開催地の青年中央会が中心となり企画することとされており、本青年中央会では今後の理事会等において協議、検討していく予定である。

### 【令和2年7月豪雨に伴う支援金のご報告とお礼】

青年中央会では、本年7月に日本各地に大きな被害をもたらした「令和2年7月豪雨」により被害を受けた地域の組合青年部及び構成員の方々を支援するため、支援金の募集を行って参りました。会員青年部の皆さまよりお寄せいただいた支援金と本青年中央会からの拠出金を合わせ、総額100,000円となりましたことをご報告させていただきます。

お寄せいただいた支援金は、全国中小企業青年中央会を通じて、被災都道府県の青年中央会に送金される予定です。皆さまの温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

支援金賛同会員（順不同）
岩手県室内装飾事業（協）青年部
岩手県再生資源（商工）青年部会
岩手県電気工業（工業）青年部
末広町青年商業研究会
盛岡卸センター経営研究会
岩手県液化ガス事業（協）青年部会“Next”
岩手県農業機械商業（協）青年部会
岩手県旅館ホテル（生同）青年部
ニコア青年部
一関電設工業会青年クラブ



## 協同組合盛岡卸センター創立50周年記念式典

協同組合盛岡卸センター（藤村文昭 理事長）は10月6日（火）、盛岡市の盛岡グランドホテルにて創立50周年記念式典を開催した。

藤村理事長の式辞の後、東北経済産業局藤本産業部長、中小企業基盤整備機構鈴木理事ら5名から祝辞が述べられた。

その後、功労者表彰として、中小企業庁長官表彰、中小企業基盤整備機構理事長表彰、全国卸団地協同組合連合会会長表彰が執り行われ、藤村理事長には株式会社商工組合中央金庫より感謝状が授与された。また、併せて永年勤続従事者表彰も行われた。

式典には、本会から小山田会長が出席したほか多数の来賓・組合関係者らが出席し盛会裏に終了した。なお、当初予定されていた祝賀会はコロナの影響で開催が見送られた。



式辞を述べる藤村理事長

## 盛岡駅前商店街 100 縁商店街開催

盛岡駅前商店街振興組合（石田和徳理事長）は、9月19日（土）、第77回100縁商店街を開催した。100縁商店街は「お客さんと商店街の縁をつなぐイベント」として、2008年にスタート。商店街の歩道を会場に、参加店が趣向を凝らした100円商品を販売。現在は4月から11月までの間、月1回のペースで開催している。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から4月、5月は開催の見送りを余儀なくされたが、6月から同イベントを開催。今回は商店街の17店舗が参加。当日は、イベントを盛り上げるため、ミニさんさパレードやお茶の振舞い、じゃんけん大会、スタンプラリーなども行われ、家族づれをはじめ、多くの人で賑わいをみせた。



子供達によるミニさんさパレード

## 岩手県電気工事業工業組合・同青年部 出前授業開催

岩手県電気工事業工業組合（平野喜嗣理事長）及び同青年部（平野喜英青年部長）では、9月24日（木）、県立一関工業高等学校で出前授業を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年度当初、組合青年部で予定していた出前授業は一切中止となっていたが、今回は高校側の要請により開催が実現。高校と組合にて、感染予防策をとったうえでの開催となった。

当日は、組合の一関支部や青年部のメンバーなどの10人が同校を訪問し、電気科や電気電子科の生徒約60人を対象に授業を2コマ実施。1コマ目は、日興電気（株）の岩館光社長より、「電気工事とはなにか?」「全国電気工事技能大会について」を解説。2コマ目は、同校OBで地元の電気工事店に就職した若手技術者3人から「実際の働き方や仕事のやりがいについて」を説明し、業界の魅力をPRした。授業に参加した生徒は進路選択の参考にと熱心に耳を傾けていた。



出前授業の様子



## 1. 全国の景況

(全国中小企業団体中央会令和2年9月25日発表)

新型コロナウイルスの発生により、DIは大きく悪化していたが、緊急事態宣言の解除以降、経済活動の再開により、6月以降、上向き傾向が見られる。ただし、DI水準は引き続き大きく落ち込んでおり、足元の感染者数が高止まりしている状況下では、正常な経済活動に戻るには時間を要するとの懸念も強い。業種を問わず、新型コロナウイルスの影響が長引くにつれ、人員削減や給料カットを検討する企業も増えてきており、先行きを不安視している声も多くなってきている。

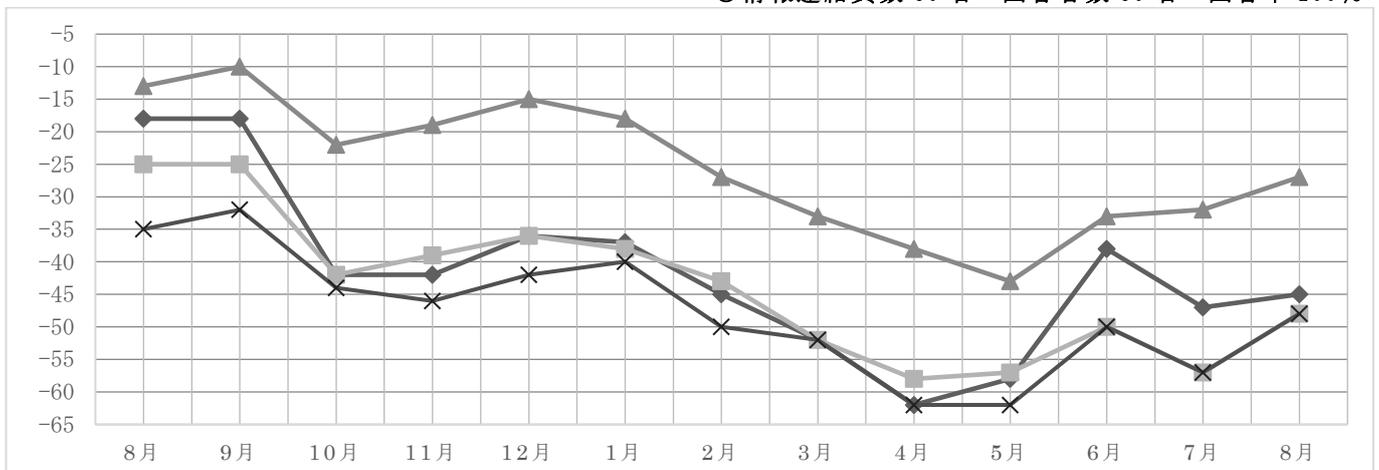
## 2. 景況天気図（県内）…令和2年7月と令和2年8月のDI比較

令和2年 8月分	全産業			製造業			非製造業			天気図
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	
売上高	△47	△45	2P↗	△52	△38	14P↗	△44	△49	5P↘	
在庫数量	△12	△5	7P↘	△5	0	5P↘	△19	△10	9P↘	
販売価格	△10	△10	0P→	△10	△10	0P→	△10	△10	0P→	
取引条件	△17	△15	2P↗	△10	△5	5P↗	△21	△21	0P→	
収益状況	△57	△48	9P↗	△52	△33	19P↗	△59	△56	3P↗	
資金繰り	△32	△27	5P↗	△29	△19	10P↗	△33	△31	2P↗	
設備操業度	△38	△24	14P↗	△38	△24	14P↗	—	—	—	
雇用人員	△20	△17	3P↗	△24	△10	14P↗	△18	△21	3P↘	
業界の景況	△57	△48	9P↗	△62	△38	24P↗	△54	△54	0P→	

DI (Diffusion Index) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いた指数のこと。

## 3. 全産業（県内）…令和元年8月～令和2年8月 DI 推移（売上高・収益・資金繰り・景況）

○情報連絡員数 60名・回答者数 60名・回答率 100%



令和2年8月DI 《 ◆…売上 -45 ■…収益 -48 ▲…資金繰り -27 ×…景況 -48 》

## 4. 各業種の概況（県内）…令和2年8月分

### ◇パン製造業

リテールでは、新型コロナ禍で売上高が無く、物流費の高騰分を吸収出来ず利益確保が厳しい状況。

### ◇めん類製造業

例年お盆の帰省でお土産等の需要があったが、新型コロナウイルスの影響で減収だった。

屋外や屋内での物産展やイベントも無く、観光シーズンの季節需要も見込めず不安しかない現状。

### ◇酒造製造業

徐々に戻って来たが、組合員ごとの数値にバラつきがあり一息つけるところには至っていない。

### ◇一般製材業

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、首都圏向けの製材品の動きは全般的に低調だが、一部の製材工場では荷動き回復の気配がみられる。

### ◇木材チップ製造業

新型コロナウイルス感染の影響は先月より拡大し、出荷量は大幅な減少である。物流、輸出が停滞し、先行き不透明な状況にある。

### ◇銑鉄鋳物製造業

機械鋳物部品の生産量は新型コロナウイルス感染症のため受注量は減少が続いている。また目標生産量は、猛暑のため達成できない工場が多い。

### ◇金属製品製造業

低下していた工場稼働率・手持ち工事量は若干改善傾向となったが、各社への見積依頼は引き続き低調、先行きの不安感を払しょくできない。

### ◇野菜果実卸売業

岩手県内でもコロナウイルスの感染者が発生、飲食店の動きが急激に悪化した。

天候不順の影響で野菜・果物の作柄不良のため入荷量が減少し、単価上昇により取扱金額は伸びているものの利益率は減少している。

### ◇水産物卸売業

海水温の上昇・猛暑の影響で漁獲量が大幅に減り、ウイルス感染者県内発生後、再び消費が減ったことで、取扱量・金額ともに大幅減となった。

### ◇各種商品卸売業

県内での新規感染者の発生が続き、各企業が展示会等の開催を控え、先行きが全く見えない状況。

### ◇燃料小売業

コロナウイルスの影響により8月の帰省客が減少したことから、売上高は前年度を下回っている。

### ◇酒・調味料小売業

家飲みが増え、スーパー等では販売が増えている。

### ◇野菜・果実小売業

お盆に向けた果実関係が極端に少なく、猛暑や県内でのコロナ感染者の発生により、親戚間の往来も減少傾向でギフト商材はほとんど動かなかった。

### ◇燃料小売業

帰省客が減少し、売上高は前年度を下回っている。

### ◇家庭用機械器具小売業

中旬からの猛暑で、エアコン需要が持ち直した。

### ◇食肉小売業

お盆商戦は、帰省客や行楽客の減少で全体的に落ち込んだ。特にホテルや飲食店への卸売事業者は非常に苦しい状況となっている。一方小売店舗は家庭内消費に支えられているようである。

### ◇各種商品小売業

8月も引き続き新型コロナの影響が大きい。帰省の自粛、夏まつり開催の見合わせなどで、食品特に土産物販売や飲食が大幅に昨年を下回った。

### ◇商店街（盛岡市）

岩手県初の感染者判明から、再び外出自粛の傾向が強まり、夜の飲食街の人出が戻らない状況である。お盆も例年のような帰省客の賑わいは無い。

### ◇自動車整備業

車検減少の年にあり、切迫度の低い一般整備等の先送り傾向等で売上が低下傾向で、今後も見通しの判断が難しい。

### ◇旅館業

GoTo トラベル事業が7月下旬より継続中。県や市町村の支援事業との複合となり若干の持ち直し傾向があったが、盆休暇は、人の移動が自粛気味で売り上げは伸びていない。

### ◇旅行業

GoTo トラベル事業や宿泊施設支援「地元割」などの効果も全くない。この先も全く予断を許さない現状で、危機に瀕している。

### ◇建物サービス業

業界の景況は依然として厳しい状況。

コロナ関連では、各施設から消毒・除菌作業についての問い合わせが多数あった。

### ◇土木工事業

受注獲得に努力しているが、競争が厳しくなり、なかなか受注に結び付かない状況である。

### ◇一般乗用旅客自動車運送業

微増ながら回復の兆しを見せていたが、県内の感染が確認され、タクシー利用が逆戻り、低迷する状況からはなかなか脱することはできなかった。

## 新春中央会組合トップセミナーのご案内

下記日程にて、新春恒例となっております新春中央会組合トップセミナーを開催致します。

- 開催日時 令和3年1月7日(木) 14:30～
  - 開催場所 メトロポリタン盛岡ニューウイング(盛岡市盛岡駅前北通2-27 TEL:019-625-1211)
  - 記念講演 講師:西成 活裕氏(東京大学先端科学技術研究センター教授/渋滞学者)  
テーマ:「ニューノーマルへの対応 ～渋滞学の発想で感染防止と経済の両立～」
- ※詳細につきましては、後日改めてご案内致します。 ○担当:企画振興部 TEL:019-624-1363

## 「中小企業等協同組合法施行令及び中小企業団体の組織に関する法律施行令の一部を改正する政令」が施行されました

令和2年9月25日において、「中小企業等協同組合法施行令及び中小企業団体の組織に関する法律施行令の一部を改正する政令」が閣議決定され、同10月1日より施行されております。

本政令は、事業協同組合等に関する経済産業大臣又は国土交通大臣の権限で、経済産業局長又は地方整備局長若しくは地方運輸局長に委任されているものに属する事務を、都道府県知事が行うこととする等、所要の改正を行います。

### ○閣議決定された政令の概要

1. 二以上の都道府県の区域にわたる組合等(全国を地区とするものを除く。)の設立認可等に関する経済産業局長又は地方整備局長若しくは地方運輸局長に委任された権限に属する事務を都道府県知事に移譲します。
2. 二以上の都道府県の区域にわたる特定共済組合及び特定共済組合連合会等(全国を地区とするものを除く。)の経営の健全性を判断するための基準の策定に関する経済産業大臣及び国土交通大臣の権限に属する事務を都道府県知事に移譲します。

<お問合せ> 中小企業庁経営支援部経営支援課 TEL:03-3501-1511(内線5331)

## 令和3年経済センサス - 活動調査を実施します(総務省・経済産業省)

- 令和3年6月に実施する経済センサス-活動調査を正確かつ円滑に実施するため、支社等を有する企業の本社あてに、令和2年10月下旬から順次「企業構造の事前確認」を行います。
- 郵送された「企業構造の事前確認票」に印字されている内容をご確認の上、ご回答よろしくお願いたします。



岩手県中小企業団体中央会 主要日誌		令和2年9月分
<b>■岩手県中央会主な実施事業等</b>		9月16日 全国植樹祭岩手県実行委員会通常総会
9月3日	岩手県地域課題解決型起業支援金審査委員会	9月17日 いわて女性の活躍促進連携会議
9月14日	震災対応移動中央会(陸前高田市)	9月23日 中小企業振興第2期基本計画外部委員会
9月25日	いわてキラリ企業合同就職説明会	いわて6次産業化支援センター運営委員会
9月29日	第45回中小企業団体岩手県大会	9月24日 ILC推進協議会役員会
<b>■関係機関・団体主催行事への出席等</b>		岩手の宿応援事業業務企画提案審査委員会
9月7日	岩手イノベーションベース キックオフイベント	9月25日 岩手地方最低賃金審議会合同専門部会
9月14日	全国中央会 税制専門委員会	新型コロナウイルス感染症に係る経済金融連絡会議
9月15日	全国中央会 総合専門委員会	9月28日 いわて産業振興センター理事会【書面開催】